

～超小型汎用コミュニケーション端末のための基盤技術の研究開発～

委託先：(株)横須賀テレコムリサーチパーク

研究代表者：ユビキタス・ネットワーキング研究所

所長 坂村 健

研究期間：平成18年9月～平成23年3月

主な研究実施場所：東京都品川区

研究成果：本研究開発課題では、タバコ箱大までに究極に小型化された超小型汎用コミュニケーション端末を実現するために必要な、基盤ハードウェア及び基盤ソフトウェア技術の研究開発を目的とする。研究成果は次の通りである。(1)ソフトウェア無線によるマルチプロトコルR/Wのアナログ・デジタル混載1チップLSIを開発し、小型マルチR/Wの開発に成功した。(2)超小型アクティブチップを開発し、自動チューニング機能を実現した。(3)サーバ/クライアント連動型の1次元、2次元、3次元ブラウザの開発を行った。(4)上記(1)、(2)、(3)を含む超小型汎用コミュニケーション端末を開発した。上記技術は、ユビキタス・コンピューティングを実現するためのコア技術である。さらには、汎用コミュニケーション端末やソフトウェアは、すでにいくつかの実システム

において採用されている。現在、実時間場所情報システム (Real Time Location System) や場所依存型のサービス (Location Based Service) の需要が高まる中、パッシブ/アクティブRFID、ならびに、サーバクライアント連動型のブラウザシステムの普及が期待できる。

研究成果説明図：

